



発表項目 (行事名)	<p style="text-align: center;">札幌医科大学助産学専攻科開設記念シンポジウム ～北海道のお産を守る助産師の役割と養成～ 開催のお知らせ</p>
概要	<p>本年4月の本学助産学専攻科の開設を記念して、次のとおりシンポジウムを開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開催日時:平成24年9月4日(火)16:00～18:00 2 開催場所:札幌医科大学記念ホール2階講堂(札幌市中央区南1条西18丁目) 3 参加対象者:助産学生、看護学生、助産学教育関係者 など ※(注) 助産関係者であれば、学外の方も参加できます。 4 プログラム: <ol style="list-style-type: none"> (1) 開会挨拶 (16:00～16:10) (2) 助産学専攻科紹介(16:10～16:30) (3) シンポジウム (16:30～18:00) <ul style="list-style-type: none"> ●座長:丸山知子氏(天使大学学長・札幌医科大学名誉教授) 大日向輝美(札幌医科大学助産学専攻科教授) ●テーマ:北海道のお産を守る助産師の役割と養成 ●シンポジスト <ul style="list-style-type: none"> ・佐野敬夫氏(医療法人社団朋佑会札幌産婦人科院長) 講演テーマ:「お産にかかる医師・助産師の役割と連携」 ・中島由香里氏(岩見沢市立総合病院産婦人科病棟看護師長) 講演テーマ:「自治体病院の助産師が守る地域のお産」 ・立花理彦氏(北海道オホーツク総合振興局保健環境部長) 講演テーマ:「北海道の周産期医療における助産師の役割 -行政の立場から」 5 その他 助産学専攻科の概要については、別紙を参照してください。
報道(取材)に当たってのお願い	本シンポジウムのイベント欄へのご掲載と当日のご取材につきまして、何とぞ宜しくお願いいたします。
担当(連絡先)	札幌医科大学事務局学務事務部学務課 主査(助産学専攻科) TEL 011-611-2111(内 2378)

安全・安心に子どもを産み育てられる社会の実現をめざして



日時：平成24年9月4日 火

午後4時開演

会場：札幌医科大学記念ホール 2階
札幌市中央区南1条西18丁目

開設記念シンポジウム

北海道のお産を守る 助産師の役割と養成



札幌医科大学助産学専攻科

Sapporo Medical University Graduate Course in Midwifery

座長 丸山 知子 氏 天使大学学長・札幌医科大学名誉教授
大日向 輝美 札幌医科大学助産学専攻科教授

●講演テーマ/シンポジスト

講演Ⅰ 「お産にかかわる医師・助産師の役割と連携」

医療法人社団朋佑会札幌産科婦人科院長 佐野 敬夫 氏

講演Ⅱ 「自治体病院の助産師が守る地域のお産」

岩見沢市立総合病院産婦人科病棟看護師長 中島 由香里 氏

講演Ⅲ 「北海道の周産期医療における助産師の役割-行政の立場から」

北海道オホーツク総合振興局保健環境部長 立花 理彦 氏

参加対象 助産学生、看護学生、助産学教育関係者など

参加定員 150名程度

参加申込方法

参加を希望される方は、8月17日（金）までに下記宛に電話又はe-mailでお申し込み下さい。なお、メールの場合は、件名を「シンポジウム参加希望」として送信して下さい。



お問い合わせ/お申し込み
札幌医科大学事務局学務課助産学専攻科(木下・山本)

〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目(北海道立衛生学院内)
Tel: 011-611-2111(内線2378) / Fax: 011-688-9861
e-mail: jyosan@sapmed.ac.jp HP: <http://web/sapmed.ac.jp/>



札幌医科大学

助産学専攻科

Sapporo Medical University
Graduate Course in Midwifery

安全・安心に子どもを産み育てられる
社会の実現をめざして

いのちを守り、いのちを育むひとになる

札幌医科大学助産学専攻科は、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな助産師を育成し、北海道の母子保健・周産期医療の充実と発展に貢献します

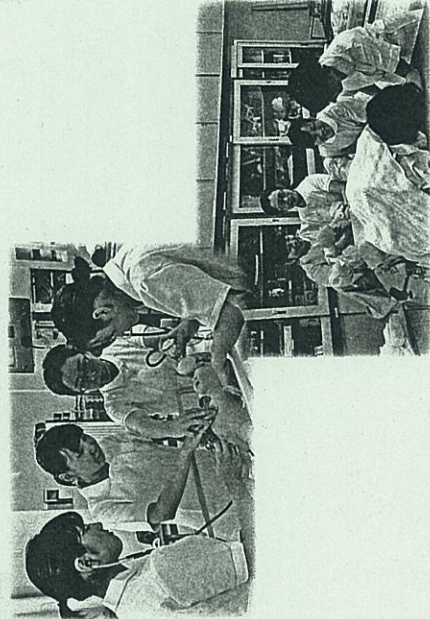
教育理念

助産師は、女性の生涯の健康を支える専門職です。とりわけ妊娠・出産・産褥の過程において妊産婦や新生児、その家族に対して継続的に支援する役割を担っています。女性と子ども、家族、地域社会を対象に、人々のニーズや自己決定を尊重し、質の高い助産ケアを通して、子どもを産み育てる人間社会の安定と発展に貢献します。

北海道は、母子保健・周産期医療に関わる多くの課題を抱えています。また、出生率の低下や育児環境の問題など、女性と子どもを取り巻く社会状況も大きく変化しています。今、社会からは、専門的な知識と技術に支えられ、自立して助産ケアの行える助産師が求められています。まだまだ不足している状況です。

札幌医科大学では、医師及び他の保健医療関係者との共同のもとに、助産師として主体的に専門性を発揮するとともに、将来、後進の育成に取り組み、北海道の助産領域を牽引する役割を担う専門職の養成に努めます。

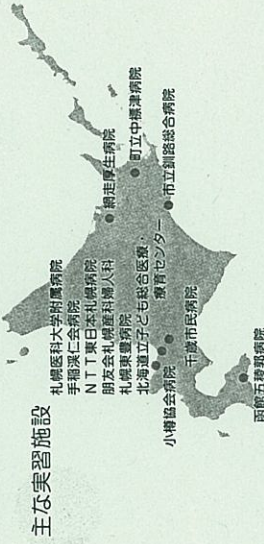
本専攻科は、教員も学生も共に学び合う姿勢を持って、皆さんの力を持って最大に引き出し、1年後には助産師として社会にエントリできる実践力を養うことを約束します。



教育の特徴

助産学・産婦人科学を専門とする専任教員を中心に、札幌医科大学に所属する関連分野の教員、道内の母子保健・周産期医療で活躍する講師陣が授業を担当します。また、個別指導を重視し、きめ細やかな指導を行うことで一人ひとりの実践力を確実に養います。

助産学実習は、札幌市内及び道内の基幹病院や助産施設で行います。専任教員と実習指導者との連携を密にとり、効果的な実習が行える環境を準備します。様々な場での実習を通して、地域医療における助産師の役割も学びます。



主な実習施設

アドミッションポリシー

- 本専攻科は、こんな人を歓迎します。
- 1 人間の尊厳と生命の尊重を基盤に、生と死に真摯に向き合い、寄り添うことができる人
 - 2 社会を構成するすべての人々に敬意を払い、人々との相互関係を大切にできる人
 - 3 看護学に関する知識・技術の基礎・基本を高いレベルで備え、助産学を主体的に学び追求する姿勢を有している人
 - 4 北海道の母子保健に深い興味や関心を持ち、自らの助産実践を通して諸課題を解決したいと考えている人
 - 5 異なる文化や価値観を尊重し、広い視野で物事を見つめ、社会に貢献しつつ自分も成長しようとする人

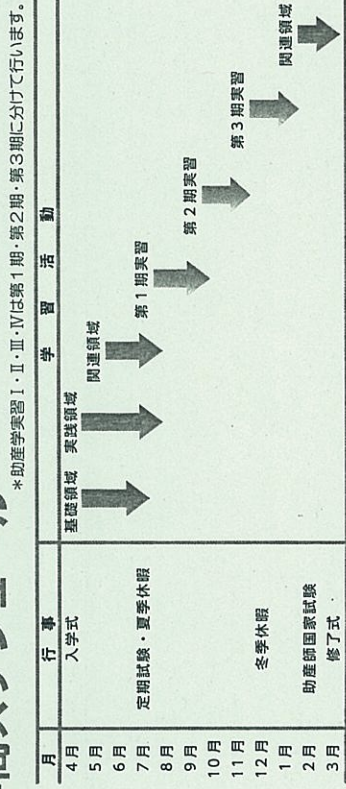
取得できる資格
・助産師（国家試験受験資格）
・受胎調節実地指導員

教育課程

助産学の基礎領域で学んだ基礎的な知識をもとに、実践領域では助産実践に直接かかわる技術と実践そのものを学びます。学内における知識・技術の学習・諸施設での実習を通して、助産師に求められる実践力を段階的、系統的に養います。

領域	内容	授業科目	単位
基礎領域	助産学の目的・対象、助産実践の基盤となる周産期医学や薬学・栄養学、その関連分野の知識に加え、専門職としての責務と倫理を学びます。	助産学概論	2
		周産期医学 I	1
		周産期医学 II	1
		周産期の薬理学	1
		胎児・新生児学	1
実践領域	学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女性・新生児に対するアセスメント、助産ケアの基本、助産業務の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保護の場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。	母子の栄養学	1
		乳幼児の成長発達	1
		家族の心理社会学	1
		助産診断とケア I	1
		助産診断とケア II	3
		助産診断とケア III	2
		周産期ハイリスク	1
		助産管理学	1
関連領域	地域のリプロダクティブヘルズ、母子保護の向上を目指す助産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。	助産学実習 I	8
		助産学実習 II	2
		助産学実習 III	1
		助産学実習 IV	1
合計		健康管理学 地域母子保健論 助産学課題研究	32単位(全て必修)

年間スケジュール



入学者選抜の概要

修業年限・募集人員等

修業年限 1年
入学定員 20名
選抜区分 推薦入試・一般入試

入学資格

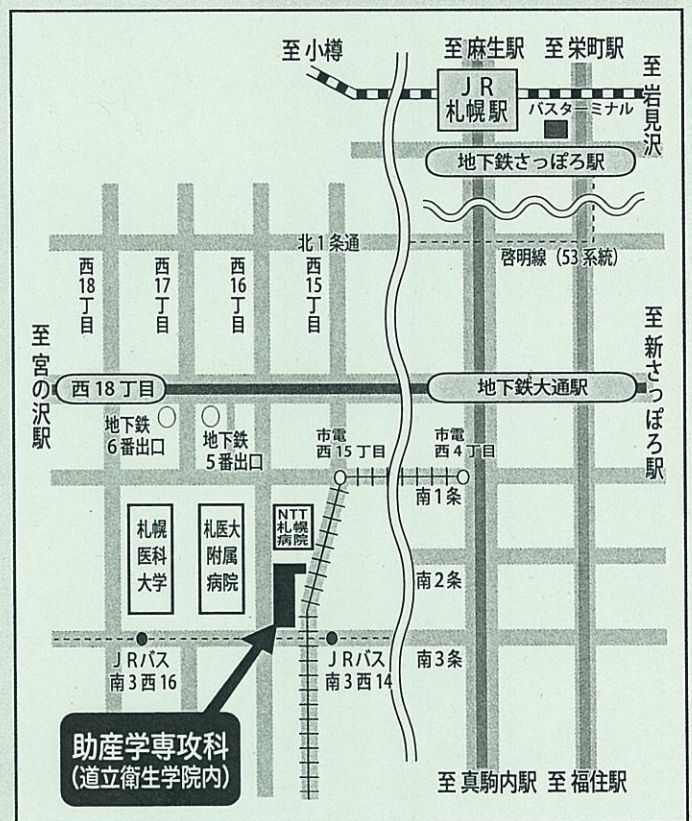
看護師資格を有する又は看護師国家試験に合格した女性で、次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者

入学者選抜方法

入学者の選抜は、専門科目（看護学一般）及び小論文の筆記試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行います。

詳細は、学生募集要項をご覧ください。



札幌医科大学助産学専攻科

〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目（道立衛生学院内）

アクセス 札幌市電「西15丁目」停留所下車徒歩1分
地下鉄東西線「西18丁目」駅下車徒歩7分
JRバス啓明線（53系統）「南3条西14丁目」下車徒歩1分

問い合わせ 事務局学務課主査（助産学専攻科）
TEL 011-611-2111（内線2378）
FAX 011-688-9861
MAIL jyosan@sapmed.ac.jp
HP <http://web.sapmed.ac.jp/>